

# 私の一文字

副代表幹事  
日色保

日本マクドナルドホールディングス  
取締役社長 兼 CEO



## 「駿」足で動く

会員の方が思いを込めて選んだ一字に、書家の岡西佑奈さんが命を吹き込む「私の一文字」。今回は、日色保副代表幹事にご登場いただきました。

**岡西** この漢字を選ばれた思いをお聞かせください。

**日色** 「アジリティ」、俊敏さを示す漢字ですが、昔から好きな文字でした。「うまへん」で躍動を表し、「つくり」が知性を示すと聞いたこともあります。ダイナミズムを感じます。

**岡西** まさにそうした意を持つ文字ですので、「うまへん」はスピード感を意識して書き、全体としてはたくましさ表現しました。最後の一画にはどっしりとした安定感を持たせて書き上げました。「駿」で示されるような俊敏さを、仕事でも大事にしていращるのでしょうか。

**日色** そうですね。変化の中では、時々の状況に合わせて判断し、最適なアクションを取ることが必要です。そのためにも大事にしているのが、パーパスやビジョンの共有です。指示命令で動くのではなく、個々人が自ら考え動くチームをつくるのが、俊敏な組織をつくる上で欠かせません。

**岡西** 具体的な事例をお聞かせいただくことはできますか。

**日色** 例えばコロナ禍では、誰も経験したことがない事態の中で、経営者だけでなく各現場の社員一人ひとりが、さまざまな判断を日々求められました。まさにパーパスとビジョンの下で、皆が自律的に動きました。

**岡西** ご自身も入社後に半年間、店舗で働かれたとか。

**日色** 主にBtoBの世界で生きてきた私にとって、最終顧客と店舗で直接向かい合うことは大きな経験でした。お客さまも働くスタッフも本当に多様です。ダイバーシティのるつぽのような環境に触れて、それまで見えていなかった社会の側面にたくさん気づきました。同時に、これほどに多様な社員の内面的な動機をフォローすることがリーダーには必要だと、あらためて感じました。

**岡西** 書を記す際には目の前の紙に集中するのですが、あまりに入り込むとかえってバランスが悪くなります。時に俯瞰し、全体と細部とを行き来するのですが、今日のお話にも通じるのではないかと思います。

**日色** 同感です。たくさんの店舗を抱えているだけに、経営も臨機応変にズームイン、ズームアウトができないといけないと、日々感じています。

**岡西** 経済同友会の委員会では、学校教育やスポーツ・アート関連に取り組まれているそうですね。

**日色** 学校に出張授業に行くことが多いのですが、「ラーニングアジリティ」、機を見て敏に学び続けることの大事さを伝えています。スポーツやアートに関しては、地域の活性化に大きなパワーをもたらす点に注目し、その発展にかかわっていろいろと活動しています。

**岡西** 副代表幹事としての抱負もお聞かせください。

**日色** 会員相互の交流も含め、よりアクティブな会として発展することに尽力したいですし、委員会活動を通して実践をたくさん行っていきたいと考えています。



書家  
岡西 佑奈

1985年3月生まれ。23歳で書家として活動を始め、国内外受賞歴多数。